

産学官R&D紹介企画のご案内

■ R&Dセッション（講演） K会場

10月19日（火） 15:00-15:30

『顔料を科学する』 クラリアントケミカルズ株式会社

工業製品としての有機顔料合成は100年以上の歴史がありますが、1000年以上の無機顔料の歴史と比べると、比較的新しい技術といえます。それでも新規の構造はほぼ出尽くしたといわれておりますが、世の中から色が消えることはなく、非常に鮮やかな有機顔料は我々の生活に欠かせません。その用途も多岐にわたり、用途ごとに色特性だけでなくさまざまな顔料物性が求められます。顔料は染料と違い、粒子であり、粒度分布を持つために、同一の化学構造であっても非常に複雑な発色や異なる物性を有します。そのため、製造方法や合成助剤や表面処理、後処理を工夫することによってより付加価値の高い製品を生み出すことが可能になります。本講演では、実際の使用用途ごとに開発事例やその実績をご紹介します。

10月20日（水） 15:00-15:30

昭和電工グループの研究開発 –多孔性金属錯体と半導体パッケージ–

無機からアルミまで手がけるユニークな素材メーカーとして、幅広い技術を持つ当社だからこそできる個性的な製品の開発に取り組んでいます。世界トップレベルの機能性化学メーカーを目指す昭和電工グループの研究開発として、多孔性金属錯体と最先端の半導体産業を支えるパッケージ技術開発事例をご紹介します。

■ ランチタイムセッション（講演） K会場、L会場

10月19日（火） 12:00～13:00

昭和電工グループ ランチタイムセッション –最先端の研究開発をご紹介します– （K会場）

2020年、世界トップレベルの機能性化学メーカーを目指し、昭和電工マテリアルズ（旧：日立化成）をグループに迎えました。そんな私たち昭和電工グループの概要や目指す未来についてご紹介するとともに、各テーマの研究開発者が登壇し研究開発事例をご紹介します。参加者のご質問にもお答えしますので、是非ご参加ください。

日産化学株式会社ランチタイムセッション （L会場）

当社日産化学は、「独自の革新的な技術で社会の要請に応える未来創造企業」を目指し、新しい領域への挑戦を大切にしています。本セッションでは、培ってきたコア技術についてご紹介するとともに、未来創造を描くベースとして当社に根付く「自ら考え、発信・実行していく」姿勢で若手研究社員が取り組んだ挑戦的な事例を交えながら講演を行います。

10月20日（水） 12:00～13:00 （K会場）

花王株式会社ランチタイムセッション ～産業界の発展を支える花王のケミカル技術～

花王では、消費者向けの商品開発のほかに、産業界の発展を支える革新的な工業用製品を創製しています。基盤となる技術は界面科学ですが、なかでも「界面物性制御技術」「ナノ表面改質技術」「機能性分子設計技術」、そしてそれらの複合化技術をコア技術と位置づけています。本セッションでは、持続可能な社会の実現に貢献する製品開発およびソリューション提供の事例を紹介します。

10月21日（木） 12:00～13:00 （K会場）

デンカ株式会社ランチタイムセッション

デンカ株式会社は、セラミックス、合成樹脂、合成ゴムなどの素材から、電子材料、住宅建材、食品包装材料、医薬品など、様々な製品を生産する化学会社です。当社の概要や製品群、研究開発体制をご紹介しますとともに、具体例として、新型コロナウイルス抗原検査試薬開発を中心とした医薬品分野の研究開発事例をご紹介します。

■ R&D展示ブース P会場

旭化成株式会社、味の素株式会社、株式会社ADEKA、出光興産株式会社、花王株式会社、株式会社カネカ株式会社クレハ、JSR株式会社、信越化学工業株式会社、住友化学株式会社、住友ベークライト株式会社積水化学工業株式会社、太陽ホールディングス株式会社、DIC株式会社、帝人株式会社、デンカ株式会社東ソー株式会社、日揮ユニバーサル株式会社、日産化学株式会社、株式会社日本触媒、日本ゼオン株式会社日本ロレアル株式会社、パナソニック株式会社、富士フイルム株式会社、三菱ガス化学株式会社三菱ケミカル株式会社、ライオン株式会社

（以上27機関）